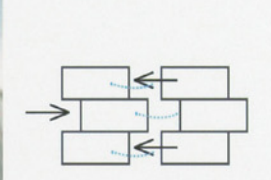
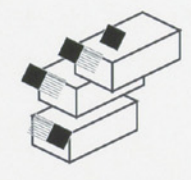


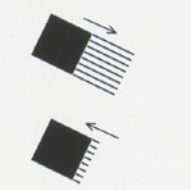
1. Setback
住戸のボリュームを上層にいくほどセットバックさせることで、道路からの圧迫感をなくし、南側にテラス空間をつくります。北側は住人のためのcommon spaceとして共有されます。



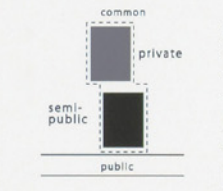
2. Zigzag
上下のボリュームを東西方向にずらすことにより、テラスをつくと同時に、風と光を敷地の奥まで通すことができます。



3. Solar Panel
それぞれの住戸の南面テラスに、約2×2mのソーラーパネルとルーバーパネルを並べます。住戸ボリュームの上に軽やかに並ぶパネルは、テラスに庇の下の空間をつくり、街に対してゆたかな表情をつくります。



4. Moveable louver
ソーラーパネルの裏に収納できる可動式の木製ルーバーを取り付けます。木製ルーバーはプライバシーを保ちながら、夏の直射日光をさえぎり、冬の日差しを取り入れます。また、ツタ性の植物をせからまることで、緑化パネルとしても機能します。



5. Unit
南西の道路(Public)に対してリビング、ダイニングなどのSemi-publicな性質を持つ様を配置し、その奥にprivate様を配置し、二つで一つの住戸を提案します。semi-public様は前面に大きな開口部を持ち、private様はプライバシーを守るために適度に開口部を配置します。

Solar Terrace House

ソーラーパネルとルーバーによる豊かなファサードをもつ集合住宅を提案します。住戸単位のボリュームの操作は、多くのテラス空間を生み出し、沢山の光と風を敷地の奥まで通します。また可動式ルーバーはファサードを多様化するだけでなく、室内に取り込む太陽光の量を調整することが可能です。ソーラーパネルとルーバーがつくるテラス空間では、太陽の熱と光を取り入れたあたたかい生活がひろがります。



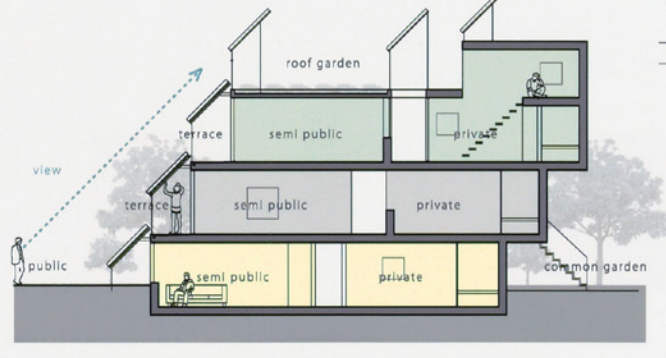
1F Plan scale=1/300
 ■ ソーラーパネル : SQ-201 2枚
 ■ 貯満ユニット : TFT-C10ARS-AWC



2F Plan scale=1/300



3F Plan scale=1/300



Section scale=1/200



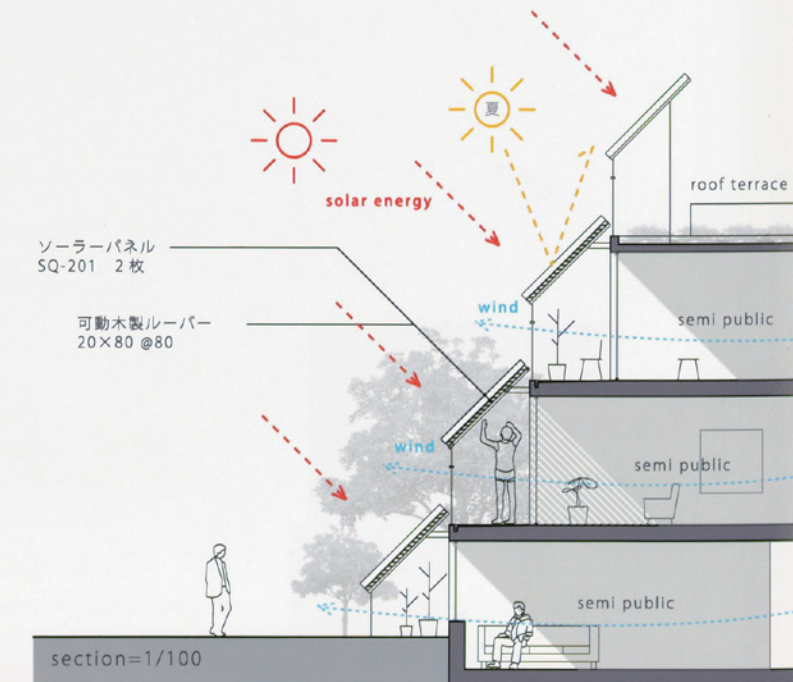
テラスとソーラーパネル、ルーバー
ソーラーパネル、ルーバーは広い開口部とテラスに対して庇の下の空間をもたらします。パネルは強い影を、ルーバーはリズムカルな影のある空間を作ります。



common space
道路の裏側のスペースは住人達のcommon spaceとして活用されます。住戸のvolume操作によって生まれた空間は北側ながら快適で、変化のある空間となります。



住戸内部
semi-public様とprivate様は適度な開口とvolumeのズレによって繋がられます。そのことによって、奥行き、繋がりのある空間を演出します。



section=1/100